



「鹿野山・愛彩の会」の紹介

(鹿野山の自然と文化を彩る会)

私達の会は、千葉県生涯大学校 南房学園 地域活動学部の仲間で、モミジの苗を植樹したのを切っ掛けに、2016年3月に事務局所在地を「鰻の津多屋」にして、活動に賛同してくれる方達と「鹿野山・愛彩の会」を設立しスタートしました。(URL: <http://aisaiclub-kanozan.jimdo.com>)

花咲く、彩の鹿野山にしたい！

鹿野山が昔のように賑わいを取り戻せたらと活動を始めました。

昔、鹿野山の春は桜の花があふれていました。でも病気で枯れてしまいました。

もう一度ピンク色の花を咲かせ、そして秋には真っ赤なモミジが彩ったらどんなに素敵でしょう。

一緒に楽しみながら植栽しませんか！

鹿野山をフィールドに植栽や下草刈りなどの作業をしながら、

四季折々に彩を感じられ、楽しく憩いの場となるような郷土づくりを目指しています。

5年、10年先の鹿野山が美しく変貌するのが楽しみです。



<活動の内容>

- ・里山の整備（下草刈り、枯れ枝の除去、遊歩道の清掃など）、植樹、山野草の植え付け
- ・学習会（園芸、森の観察、郷土史など）
- ・周辺秘境（古道、滝など）の探検
- ・研修旅行



- * お試し参加は、いつでも大歓迎です。お気軽にいつでも参加して下さい。作業道具は会で用意してあります。

活動開始	会員数	活動頻度	主な活動場所	連絡先
2015年(H27)3月	27名と2法人 (2016年9月現在)	2回程度/月の作業と 3回程度/年の学習会	鹿野山神野寺周辺 の里山	●●●●●●●●●●●●●●●●

「植栽や遊歩道整備などによる鹿野山のにぎわい創出に向けて」

(2015年10月～2016年9月)

■主体団体 鹿野山・愛彩の会

■発表内容 この1年間の主な活動の紹介

山仕事の素人集団のできる事は、草刈りとゴミ掃除だが、将来の楽しみな植栽と今を楽しむ食文化の実践と色々な学習会を取り入れ活動の持続性を高めている。

① 愛彩の小径に竹灯籠を設置 (2015年12月)



ホテルから神野寺への近道作りに併せて孟宗竹で作った灯籠を道の両脇に設置した。12月29日に万灯会と通り初めを行い、初詣の人達に重宝がられた。

② 九十九谷公園駐車場周辺への桜の苗木の植樹 (2016年2月)



日本さくらの会より入手した桜の若木50本を植樹するにあたり、商工会議所や市役所の方達も参加して大勢での植樹会となった。

風当たりの強い場所だが、年間を通して訪れる人がいるので、サクラの開花時期には楽しみな場所になることでしょう。

③ 洞坂の階段の再整備（2016年5月）



土囊

の階段が崩れて歩き難かった。

中古枕木を利用して整備し直した。

君津市まちづくり市税1%支援事業の助成を受け、神野寺前庭東側にある生活道路「洞坂」の階段再整備を行った。この道は、阿久留王塚方面から繋がる古道の一部だが、観光客が散策にも利用する遊歩道でもある。春先には清楚なミツマタの花が多く見られる。



完成後、近所の方達と一緒に安全祈禱をしたのちに使い始めた。

④ 公開学習会の開催

- ・ 2015年12月「鹿野山で探す冬の装い」（広島さん）
遊歩道にある山野草を観察し、在来種と外来種を知って将来保存管理する品種を学習した。春に2回目を行い秋にかけての対応を学んだ。
- ・ 2016年3月「お山に花を咲かせましょう」（佐野さん）
フルーツから花主体へと観光資源を変化させながら市外からの客勇知を進めている平成のはなさか爺さんの経験談を聞いた。
- ・ 2016年8月「鹿野山の発祥と信仰」（田中さん）
現在も垣間見ることが出来る習慣や遺構について、古代阿久留王の時代まで遡り推察した興味深い内容で、50名を超える人達が大塚屋旅館に集まった。
この地に関して理解を深めることで、親しみを持って活動できるようになる。